

下大和田谷津田だより

2003年5月号

第23回谷津田ブランド・プロジェクト(YPP) 谷津田でワイワイ田おこし 4月27日 晴れ

さわやかな晴天のもと、みんなでにぎやかに田起こしをしました。思ったより男手が少なくて大丈夫かな、と心配しましたが、女性も子どもたちも力強く鍬をふるい、予定していた3畝のコシヒカリ田を午前中に起こすことができました。「腰が痛~い！」と言っていたみなさんもいましたが平気だったかな？

お昼は田んぼのまわりで採った野草を天ぷらにして食べました。野草の王様と呼ぶ人もいるタラノメやそれに負けないおいしさのクズの芽に満足。野草だけでなく、水路でザリガニをすくって揚げたり、ゆでたりして食べました。「かわいそ~」と言いながら自分で天ぷら鍋に入れた子どもたちも、恐る恐る口に入れると、「おいしい！もう一匹食べる！」。そう、ザリガニはどうしてみんな食べないのか不思議なくらい、とってもおいしいんです。

午後は古代米を植える田んぼの枯れ草を焼いたり、ガマを抜いたり、できるところまで作業をしました。

シュレーゲルアマガエルの軽快な鳴き声を聞きながら気持ちの良い一日でした。

(参加者：大人23人・小学生8人、報告：高山邦明)

第39回「下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い」報告

4月6日

今回からテーマを決めて観察することになりました。今回は「春の野の花」でした。

<植物> オオイヌノフグリ, オオジシバリ, オニノゲシ, オランダミミナグサ, カタバミ, カラスノエンドウ, カントウタンポポ, キランソウ, クサノオウ, ゲンゲ, コハコベ, コブシ, スギナ, スズメノカタビラ, スズメノテッポウ, セイヨウタンポポ, タガラシ, タチイヌノフグリ, タネツケバナ, トキワハゼ, ナズナ, ノゲシ, ノミノフスマ, ハルジオン, ヒメオドリコソウ, ヘビイチゴ, ホトケノザ, ミズタガラシ, ミドリハコベ

<野鳥> アオジ, ウグイス, コジュケイ, セグロセキレイ, モズ

<昆虫> ガガンボ, キチョウ, ナナホシテントウムシ, スジグロシロチョウ

<水生生物> メダカ, ドジョウ, オオタニシ, カワニナ, マルタニシ, カナヘビ, スジエビ, ヨコエビ, ニホンアカガエル(杓ヅクシ), アズマヒキガエル(杓ヅクシ)

(参加者：大人5人・子供3人、報告：網代春男)

下大和田季節のたより

4月13日 アカガエルの親が姿を現し、アカガエルの鳴き声も。あぜ道ではコイシメが小さな花を開きはじめる。旅立ち前のアカガエリやツグミ、アサギのさえずりが聞こえる。

4月19日 次々と花が開き、あぜはお花畑に。シュレーゲルアマガエルの合唱がはじまった田んぼではタガラシに混じって、レンゲも咲いている。

4月27日 YPPの参加者が谷津の上を3羽のサバが飛ぶのを確認。珍しい加のさえずりも。

4月29日 羽化したてのヤマサエが弱々しく飛んでいた。今年初めて見るトホの姿。サヨリ、アゲハ、ササガなどチョウもふつうに見られるようになった。

春から初夏へ。新緑の季節を迎えた谷津は実にさわやかです。あちこちの田んぼでは連休中に田植えが終わりました。私たちの田んぼもいよいよ5月10日に田植えをします。

高山邦明